

令和 2 年 4 月 1 日
神戸リサーチコンプレックス協議会

神戸リサーチコンプレックス協議会運営の基本方針(案)

1. はじめに (趣旨)

昨今、わが国では、人口の高齢化に伴い、医療費や介護費が増加の一途を辿っており、社会的課題となっています。このような中で、病気になる前の「未病領域」に着目し、早期介入することで、国民の健康寿命の延伸や健康増進に向けた取り組みが行われています。また、「働き方改革を推進するための関係法律の整備に関する法律」を施行されるなど、全国的に働き方改革が進められる中で、健康経営の推進にも注目が集まっており、ヘルスケア関連領域は、新たな産業創出の場として、期待が高まっています。

神戸リサーチコンプレックス協議会（以下、「協議会」という。）は、「個別健康の最大化」を目指した「健康“生き活き”羅針盤リサーチコンプレックス」を継承する組織として設立しました。協議会では、関西圏はもとより全国のヘルスケア産業に関する英知を結集し、かつ神戸医療産業都市という医療産業創出基盤を活かし、「ヘルスケア分野のエコシステムを神戸に創る」ことを目的に、今後のヘルスケア産業の創出に向けた基本的役割と運営の方向性等を示す「基本方針」をもとに、ヘルスケア産業が創出される土壌を醸成し、その成果を広く社会に還元します。

2. 基本方針

協議会は、以下の5つを運営の基本方針とする。

(1) コア事業を中心としたヘルスケア産業を振興する。

協議会の中心となるコア事業の研究開発・事業化を推進・支援することで、ヘルスケア産業を振興することを目指します。

(2) ヘルスケア関連企業を集積し、イノベーションを創出する。

ヘルスケアに関わる企業等の集積を促し、産学官の様々なプレーヤーが連携・交流し、アイデアを結集することによりイノベーションが創出される環境を形成します。特に、ベンチャー企業等との共創による新たなビジネス創出を促す環境づくりを目指します。

(3) 事業化支援プラットフォームを発展させ、産業創出を牽引する。

ヘルスケア製品・サービスの事業化を進める際には、製品開発、実証試験など様々な段階で課題に直面します。協議会では、シーズ・ニーズマッチング、研究開発支援、実証フィールドの提供、資金獲得などの様々な角度から支援できる事業化プラットフォームを発展させ、産業創出を牽引します。

（４）ヘルスケア産業を支える人材を育成・輩出する。

新たな産業を創出するためには、研究者だけでなく、アントレプレナー人材、シミュレーション系人材、健康科学先導専門人材など、様々な領域に精通する専門人材が不可欠です。協議会では、ヘルスケア産業の創出を支える人材を育成・輩出します。

（５）ヘルスケアエコシステムが持続的に発展する源泉となるシーズを創出し続ける。

ヘルスケア産業を創出するエコシステムが持続的に発展するためには、シーズを創出し続けることが重要です。協議会の新たなコア事業を生み出すシーズ、産業の源泉となるシーズの創出に向けた取り組みを推進します。